

IT・コンテンツ分野における戦略の方向性について

1. IT・コンテンツ分野における本県の特徴について

- (1) ソフトウェア産業の集積
 - 単位人口当たり売上高 全国 6 位
 - 単位人口当たり事業所数 全国 4 位
 - 単位人口当たり従業員数 全国 6 位
 - ニッチトップ企業が多い (H17:40 社 → H25:64 社)
- (2) 国際競争力の高いハードウェア企業数社が県内情報通信産業を牽引
 - 主要数社による情報通信機械器具製造業の製造品出荷額割合が高い。
- (3) 高等教育機関の集積
 - 人口あたりの高等教育機関が多い。
- (4) 陸海空の交通網の整備進展
 - 台湾便のデイリー化など小松空港の国際化
- (5) 豊富な地域の有形・無形資産
 - 食文化や自然、工芸品などの豊富な地域資源
- (6) 比較的安価な電力と低い大規模地震リスク
 - 安価な電力
 - 大規模地震リスクが比較的少ない。

2. IT・コンテンツ分野を取り巻く環境変化について

- (1) 一極集中している首都圏市場へのアクセス向上
 - 北陸新幹線の金沢開業により、首都圏巨大市場へのアクセス向上
- (2) 国内人口減少の進行による国内需要減少
 - 国内市場縮小への高い懸念
- (3) 新分野における市場拡大
 - 農業・医療など潜在需要を掘り起こす産業分野の市場規模が拡大傾向
- (4) スマートフォンやタブレット端末の普及
 - インターネット通信コンテンツ市場の拡大
- (5) グローバル化の進展
 - アジア等新興国のGDPが拡大
- (6) 少子高齢化の進行による生産年齢人口の減少
 - IT人材不足

3. 今後十年間を見据えたＩＴ・コンテンツ分野の戦略の方向性について

課題① ソフトウェア産業の集積、国際競争力の高いハードウェア企業、
安価な電力、首都圏へのアクセス向上、国内需要縮小、新分野の市場拡大、
スマートフォンやタブレット端末の普及

→ 3-1. 新たな市場や販路を開拓する。

- (1) 首都圏等において新規販路を開拓する
- (2) 新分野で販路を開拓する
- (3) 産学官連携を強化する
- (4) 地場企業との連携を促進する
- (5) 新製品を開発する
- (6) 企業誘致を推進する

課題② ソフトウェア産業の集積、高等教育機関の集積

→ 3-2. ニッチトップ企業や新規企業を増やす・伸ばす

- (1) ニッチトップ企業を更に伸ばす・増やす
- (2) ベンチャー企業の創業を促進する

課題③ 国内需要減少、グローバル化の進展、陸海空の交通網の整備進展

→ 3-3. 海外市場に展開する

- (1) 海外展開を推進する。

課題④ 生産年齢人口の減少、首都圏へのアクセス向上

→ 3-4. 産業人材の育成・確保

- (1) 高度専門人材を確保・育成する
- (2) 若手人材を確保・育成する

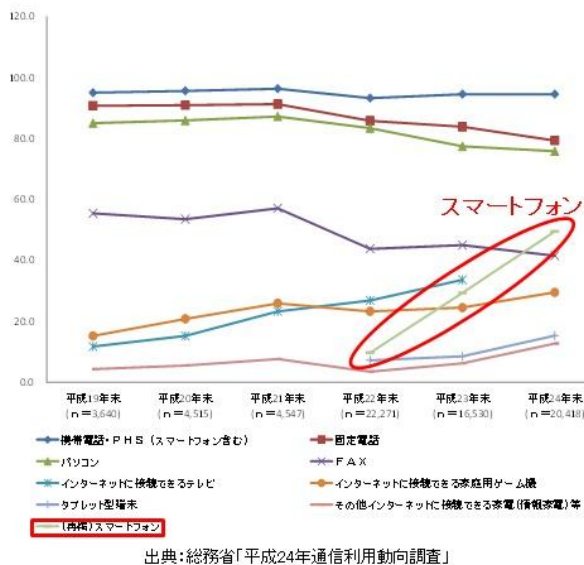
課題⑤ 陸海空の交通網の整備進展、豊富な地域の有形・無形資産

→ 3-5. 地域資源を活かしたコンテンツの創出

- (1) 豊富な地域資源を活用したコンテンツやコンテンツビジネスを創出する

＜参考資料＞

①主な情報通信機器の世帯保有状況 (H19～H24 末)



②我が国におけるソーシャルメディアの 利用者数の推移



③県内 IT 産業の現状（ソフト産業）について

	売上高総計 (百万円)	単位人口当たり 売上高順位	売上高割合	事業所数割合	従業員数割合
全 国 計	18,843,745		100.00%	100.00%	100.00%
東 京	11,943,710	1	63.38%	39.32%	53.76%
大 阪	1,483,166	2	7.87%	10.33%	9.63%
神 奈 川	1,460,185	3	7.75%	5.88%	8.70%
愛 知	659,999	4	4.56%	5.42%	3.91%
福 岡	454,591	5	2.41%	4.53%	3.36%
石 川	82,172	6	0.44%	0.93%	0.61%

単位人口当たりの全国順位
・事業所数: 4位
・従業者数: 6位
・売上高: 6位

	H2	H7	H12	H17	H22
事業所数(カ所)	47	54	83	83	210
従業者数(人)	2,187	2,468	3,900	4,009	5,523
売上高(百万円)	21,020	29,875	61,361	76,471	82,172

